

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公開番号】特開 2011-93933 (P2011-93933A)
 【公開日】平成 23 年 5 月 12 日 (2011.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-019
 【出願番号】特願 2011-20227 (P2011-20227)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/198 (2006.01)

A 2 3 L 1/305 (2006.01)

A 6 1 P 25/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/198

A 2 3 L 1/305

A 6 1 P 25/20

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 21 日 (2012.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グリシンを 1 回あたりの摂取量が 0.5 g 以上となるように含有する、熟眠障害改善剤。

【請求項 2】

グリシンを 1 回あたりの摂取量が 0.5 g 以上となるように含有する、食品、飲料、健康補助食品、保健機能食品またはサプリメントに添加するための熟眠障害改善剤。

【請求項 3】

さらに、賦形剤、矯味剤および香料から選ばれる少なくとも 1 種の添加物を含む、請求項 1 または 2 に記載の熟眠障害改善剤。

【請求項 4】

前記矯味剤がクエン酸である、請求項 3 に記載の熟眠障害改善剤。

【請求項 5】

液状である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の熟眠障害改善剤。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の熟眠障害改善剤を製造するための、グリシンの使用。

【請求項 7】

1 回あたり 0.5 g 以上のグリシンを経口的に摂取する、熟眠障害の改善方法（ただし医療行為を除く）。

【請求項 8】

グリシンの体重 1 kg あたりの 1 日あたりの摂取量が 0.00625 ~ 2.5 g / kg / day である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

熟眠障害の改善が中途覚醒または早朝覚醒の抑制である、請求項 7 または 8 に記載の方法。

【請求項 10】

熟眠障害の改善が睡眠の質の向上である、請求項 7 または 8 に記載の方法。